

シシャモ：柳葉魚

シシャモ（学名：Spirinchus lanceolatus）は、キュウリウオの一種であり、北海道の太平洋岸で見られます。その名前は、アイヌ語の「スス・ハム」または「シュシュ・ハモ」（柳の葉の魚）という言葉に由来します。大きさと形が柳の葉に似ているからです。

シシャモは遡河性の魚です。つまり、産卵のために海から淡水へと移動します。10月中旬から12月初旬にかけて、釧路地方のシシャモは、新釧路川、阿寒川、庶路川、そして茶路川を、産卵のために遡上します。日本において、シシャモは珍重されている食べ物です。通常は丸焼きにします。シシャモ漁は、産卵期に限られています。